メンバー紹介！

NPO法人芥川倶楽部　小倉　直彦 さん
（たかつき環境市民会議　水環境保全グループ　事務局長）

「川と私」

富山県砺波平野の散居村の間を流れる幅10mぐらいの川が、ゆるく蛇行しながら田畑の中、農家の近くを流れている。川岸はもちろん土堤で竹林あり、柳の木あり、畑ありの川です。川は湧き水も含み、いつも枯れることなくゆったりと流れていました。子ども達は水遊び、魚捕りなど、四季を通して川と関わりを持ち生活をしていました。コイ、フナ、ナマズ、ドジョウ、チチクリ（スナヤツメ）、ハリ、サバ（イトヨ）、ウグイなど、色んな種類の魚を捕ったり、食べたりしていました。故郷から大阪に出てきて、自然や川との関りが疎遠になり、長い期間が過ぎ、そして定年を迎えました。

幼少の頃、生活と遊びを与えてくれた川は、農地整備事業で2面ブロック張り、まっすぐになり、堰で分断され、水草は繁茂しているが、魚がほとんどいない川に変貌してしまいました。これは本当に悲しいことです。もう少し生き物に優しい川づくりができないものかと思います。

そこで、昔懐かしい故郷の川を思い、川との関りを再開しました。私の原体験をイメージしながら、“ひとと魚にやさしい川づくり”を芥川で活動していきたいと思っています。

参加無料　芥川倶楽部行事予定

●おとんのための魚捕り講座

お父さん!!　川で魚を上手に捕って、子どもたちのヒーローになりませんか？

日時　平成22年7月24日（土）

●あくあぴあ前 魚みち見学会

日時　平成22年8月21日（土）

●津之江公園ミズヒマワリ駆除作戦

自然創生に取り組んでいる津之江公園で、特定外来生物のミズヒマワリの駆除を行ないます。

日時　平成22年9月18日（土）

●芥川クリーンアップ＆千人鍋

日時　平成22年11月27日（土）

★イベントの詳細・最新情報は、芥川倶楽部ホームページをご覧ください
URL：http://www.akutagawa-club.net/

サポーター募集中！

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくださる「サポーター」を募集しています。ご登録いただいた方にはイベント等のご案内を差し上げます。連絡は下記まで。

連絡先　e-mail：ayu@akutagawa-club.net
TEL＆FAX：072（685）3503

芥川の生き物たちその7　ドンコ

あくあぴあ芥川主任学芸員　高田みちよ

芥川水辺だよりのVol.1にムギツクが托卵する魚としてドンコを紹介しました。今度はそのドンコの話です。ドンコはいつも石の上や水草の間に止まってじっとしています。水槽で飼っていても全然動きません。手でもつかむことのできる「鈍くさい子」という名前のようです。地方名はいろいろあり、高槻では「ガンド」と呼ばれていたそうです。カワヨシノボリによく似ていますが、胸ビレが吸盤状ではなく二枚に分かれていることや、背中にひし形の模様があることなどから見分けられます。

芥川には多くのドンコが住んでいて、子どもでもわりと簡単に捕まえることができます。食欲旺盛で、小魚を捕まえようと入れておいたモンドリに入り込み、捕まった魚を全部食べてモンドリの中で幸せそうにしていたこともあります。

しかし食べ過ぎると消化不良で死んでしまうこともあるので、自制心には欠けるらしい･･･。

繁殖期には、オスが石のすき間に巣を作り、メスを誘い込んで産卵させ、オスが卵を守ります。このとき、オスはメスを誘うようにグーグーと鳴くそうです。私は聞いたことがないので、みなさんの中で聞かれた方がいらっしゃったらぜひ教えてください。

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.7
2010年
夏号

原大橋下流部

第5回 クリーンアップ大作戦　開催報告　4月29日

「芥川をみんなの川に！」をキャッチフレーズに、アユの棲めるきれいな川を目指して芥川の清掃活動を行いました。

朝10時から2時間ほど、上流から5つの組に分かれて実施しました。参加者の合計は、昨年より約100名多い390人！ネットワーク芥川倶楽部の参加団体や自治会など、大人から子どもまでたくさんの皆さんが参加してくださいました。集めたゴミは、なんとゴミ袋で250袋にもなりました！！

参加いただいた皆さんありがとうございました。

芥川倶楽部では、クリーンアップを通じていろいろな団体が交流を深め、芥川について考えていただけるよう、引き続き取り組んでいきます。

平成22年度は、11月27日に開催を予定しています。

より多くのみなさんのご参加をお待ちしています！！

参加人数

あくあぴあ芥川付近	37人
桜堤公園	94人
JR鉄橋付近	24人
芥川大橋付近	106人
次郎四郎橋付近	29人

平成22年（2010年）7月　発行　芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～
事務局：NPO法人芥川倶楽部　〒569-0805　高槻市上田辺町１－１８　TEL　072（685）3503
ホームページ　http://www.akutagawa-club.net/

～～～「芥川」は大阪ミュージアムの登録物に認定されています　～～～

活動記録

アユ、おかえり！！

6月12日

芥川大橋の下で、遡上アユの観察会を行う「遡上アユを見つけよう！」を開催しました。

昨年はアユを確認できなかったので、今年はどうか・・・と、芥川倶楽部のメンバーなど8人が一斉に投網を投げたところ、なんと40分の間に、アユが約80匹も捕獲でき、淀川から芥川にたくさん遡上していることが確認できました。1回の投網でアユが十数匹入った名人もいました。タモ網でも捕れたようです。他に10種類の魚も確認できました。

ただ、芥川大橋のすぐ上流には高い芥川大堰があり、大阪湾・淀川から上ってきたアユたちは、残念ながら今年はここで行き止まりです。魚みち（下の記事参照）の完成が待ち遠しいです。なお、捕獲したアユの半分程度は、芥川大堰の上流に放流しました。そのうち、ＪＲ下流や、桜堤公園の渡り石から川を覗くとアユが見つかるかもしれませんね。

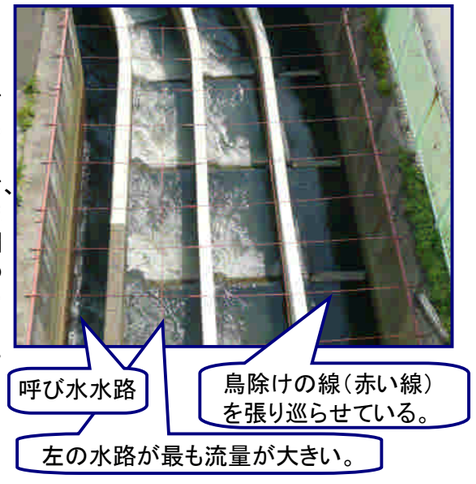
魚みち～アユが帰ってくる川づくり～

◆淀川大堰の魚みち　観察会を実施

NPO法人芥川倶楽部で、5月1日に淀川大堰の魚みちを昇るアユの観察に行ってきました。

淀川大堰に設けられている魚みちは、堰の左右岸に設けられています。左右岸とも三つの魚道を併設した形で作られており、それぞれの魚道は、隔壁（プールを仕切る壁）の高さを変えることによって越流部の流速に変化を持たせ、さまざまな魚類の遡上・降下に対応できるようされています。また、各魚みちの端には甲殻類の移動のため、太い網が設けられています。赤い鳥除け線の効果のほどは良くわからないようです。魚みちへ流れる流量は上流側のフラップゲートで調節しています。

例年、淀川ではアユは4月下旬か、5月初旬の短期間に一気に遡上します。今年は4月30日までに約2万匹が、5月1日は午前中に約2千2百匹の遡上が確認されています。このうち、どれだけが芥川に来てくれるか楽しみですね。



◆芥川大堰の魚みち

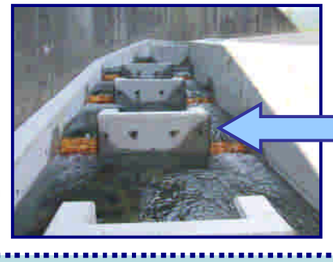
淀川を遡ったアユは、大部分が木津川に向かうようですが、一部のアユは芥川に昇ってきて、芥川大橋上流の落差工の下まで来ていることが確認されています。

国土交通省では、この落差工に魚みちを設置する工事に着手しています。（現在、休止中ですが秋には再開される予定です）この魚みちは、魚類が魚みち入口にたどりつきやすい引込式の階段式魚道で、延長約34m、プールの数は15あります。魚みちが完成すれば、アユは桜堤公園の上流まで遡ることができるはずです。

◆正恩寺橋下流の魚みち

あくあぴあ芥川の前の正恩寺橋下流にある高さ約1.5mの落差工に、魚みちが設置され、6月11日から通水が開始されました。

大阪府茨木土木事務所の管轄の芥川では、4か所目。延長約17m、8つのプールを持つ階段式魚みちです。



今年も「こいのぼりフェスタ1000」で活動をPR！

4月29日

朝方まで小雨が降っていたため、1時間遅れでの開催となりました。午前11時、素晴らしい青空での開会式に始まり、気温も上昇！！ステージも盛り上がり、来場者も例年以上の人出です。

しかし、例年設置していた会場と対岸をつなぐ仮設の橋は、芥川の水量が多かったため、安全を重視して設置が見送られました。

そのため、子どもたちに楽しんでもらおうと企画していた、会場対岸にある魚みちの説明会も、残念ながら今年は中止になりました。

でも、芥川倶楽部とたかつき環境市民会議水環境保全グループで用意した魚の水槽は、子ども達に大人気。その他、ミズヒマワリ駆除活動のパネルなども展示して芥川倶楽部の活動をPRしました。

また、芥川倶楽部のブースの隣は大阪府茨木土木事務所による防災関係のパネル展示、非常食の実演、試食会や「防災情報メール」ミニ講座も開催されていました。

ライオンズクラブ高槻基金に選ばれました！！

3月9日

NPO法人芥川倶楽部が、「ライオンズクラブ高槻基金」の顕彰に選ばれました。

ライオンズクラブ高槻基金は、福祉・文化・スポーツ・環境保護・青少年育成に顕著な業績を上げている高槻市にかかわる個人や団体に贈られるもの。2009年度はNPO法人芥川倶楽部を含め8団体が選ばれました。

これまでネットワーク参加団体とともに取り組んできたクリーンアップや遊歩道ウォーク、魚みちづくりなどの活動が評価され、とてもうれしく思います。これを励みに、これからも取り組みを進めなくてはと決意を新たにしました。

ミズヒマワリ根絶大作戦！！

5月15日

芥川に繁茂する特定外来生物「ミズヒマワリ」の根絶を目指して、恒例のミズヒマワリ駆除活動を行いました。好天に恵まれ、絶好のミズヒマワリ駆除日和 になりました。

例年の経験から、ミズヒマワリはとっても多いはずと見込んで、関西大学の学生ボランティアの皆さんの若い力を存分に発揮していただくつもりだったのですが・・・。ミズヒマワリは大幅に減っており、収穫は網ネット3袋でした。

茨木土木事務所が業者に委託して駆除を行った効果でしょうか。うれしい誤算です。これまでの、私たち芥川倶楽部を中心とした地道な努力の成果が確実に表れているように感じられます。ただし、今の時期ミズヒマワリは芽生えの時期で、雑草の中に隠れている恐れもあります。

今後も根絶を目指して駆除作業を継続していきますので、ご協力よろしくお願いします。